

かき養殖におけるむき身作業の省力化検討業務仕様書

1 業務目的

本県のかき養殖業における出荷形態は、むき身が主体であり、かき養殖業者の作業場で行われる、むき身加工は、主に「かき打ち」と呼ばれる専用の道具を使い、手作業で殻から身を取り出している。

今後、労働人口の減少により、むき身加工に係る労働力の確保が困難になることを見据え、作業の省力化及び品質安定化につながる機器等（以下、「機器等」という）に関する情報収集を行うとともに、導入に前向きな地区及びかき養殖経営体の選定を実施する。

2 業務内容

(1) 打合せ協議

調査の着手前1回、中間1回、成果物納入前1回の計3回以上の打合せを行う。
打合せ記録簿は受注者が作成し、発注者の承認を得るものとする。

(2) 機器等の情報収集

かき等の二枚貝のむき身加工に関連する機器等について、以下の調査を実施する。

- ・国内外の最新技術及び実用化された機器等を文献や特許情報、企業HPなどから情報を整理し、発注者と協議の上、その中から、本県のかき養殖向きの10種類程度を比較分析
- ・実用化された機器等の規格・性能、導入費用、維持管理費用などの調査
- ・機器等の国内における既存導入事例を、導入した事業者の経営規模も含めて3事例以上調査

(3) 対象地区及びかき養殖経営体の選定

(2)の調査結果等を踏まえ、県内の全かき養殖業者を対象とする機器等の導入意向調査、さらに機器等の導入に前向きな地区及びかき養殖経営体を選定するため、かき関係漁業協同組合へヒアリング調査を行う。

(4) 導入支援制度の情報収集

機器等の導入時に活用可能な補助金や各種支援制度を調査する。

(5) 調査結果の取りまとめ

(2)～(4)の調査結果について整理し、報告書として取りまとめる。
取りまとめ方法については、調査結果をもとに発注者と協議の上、決定する。

3 業務スケジュール

業務スケジュールは次の表のとおりを想定している。

時期 業務	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
着手前打合せ	■							
情報収集調査	■	■	■					
中間報告			■					
対象選定調査				■	■	■		
調査まとめ						■	■	
成果物まとめ							■	■
成果物納入								■

4 成果物

成果物及び納入場所は以下のとおりとする。

(1) 成果品

- ア 以下の（ア）～（ウ）を取りまとめた報告書（A4 ファイル形式） 1 部
（ア）機器等の調査結果（2（2）を整理したもの）
（イ）対象地区及び経営体の選定に関する調査結果（2（3）を整理したもの）
（ウ）支援制度の調査結果（2（4）を整理したもの）
- イ アの電子記録媒体資料 1 部
（Word または Excel 等、編集可能な形式及び PDF 版）

(2) 納入先

広島県農林水産局水産課

5 その他

- ・受注者は、業務の進捗状況等を定期的に報告するほか、発注者の求めに応じて報告を行うものとする。
- ・発注者は、業務の目的を達成するため、業務の進捗状況等に関して必要な指示を行えるものとし、受注者はこの指示に従うものとする。
- ・受注者は、本業務の遂行により知り得た情報については、契約期間中はもとより、契約終了後においても外部に漏らしてはならない。
- ・業務の目的を達成するために、本仕様書に明示されていない事項で必要な作業が生じたときは、発注者と受注者が協議の上、対応する。